

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

著名芸術家や学生達との交流で集落に活気を

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	新潟県十日町市 <small>とおかまちし</small> 筋平 <small>あざみひら</small>				
協定面積 17.9ha	田(99%) 水稲	畑(1%) 茄子	草地	採草放牧地	
交付金額 374万円	個人配分			50%	
	共同取組活動 (50%)			水路・農道の管理及び補修費	31%
				都市住民との交流費用	9%
				役員手当	4%
			その他	6%	
協定参加者	農業者24人				

2. 取組に至る経緯

当集落は、旧松代町の北西に位置し、標高250m前後の豪雪地帯で、集落の営農機能維持のため、平成12年度から当制度に取り組み始めた。

また、同じ平成12年度から十日町市を中心として「大地の芸術祭」が開催されることになり、これを契機に著名芸術家及びその関係者との交流が始まったことから、この交流を更に発展させ集落の活性化を一層図るため、第2期対策に取り組んだ。

3. 取組の内容

「大地の芸術祭」の関係者には学生も多く、収穫祭や盆・小正月行事にも参加してもらい、毎年交流を行っている。その中で、芸術家からの提案により、旧筋平小学校の建物全体覆うほどのあさがお栽培に取り組んでおり、夏には地元住民や都市農村交流に訪れる人々の目を楽しませている。この取組は「あさがおプロジェクト」として毎年実施され、芸術家や学生と一緒に集落全体で取り組むことで、相互理解が深まっている。収穫されたあさがおの種は、水戸、岐阜、金沢等県外の「あさがおプロジェクト」にも提供され、交流の輪を広げている。

このほか、集落の棚田と、カジカがいるほどきれいな鯖石川源流域の水で育てた米をPRしようと、「あざみカジカ米」と名付け、芸術家にラベルをデザインしてもらい、インターネットを活用して販売している。



都市交流での、どろんこサッカー

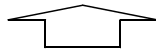


共同作業による農道舗装

[集落の将来像]

都市交流をさらに発展させ、より一層の集落の活性化を図る。また、中核担い手農家を中心に農地集積、作業受委託を推進し、過疎・高齢化に対応していく。

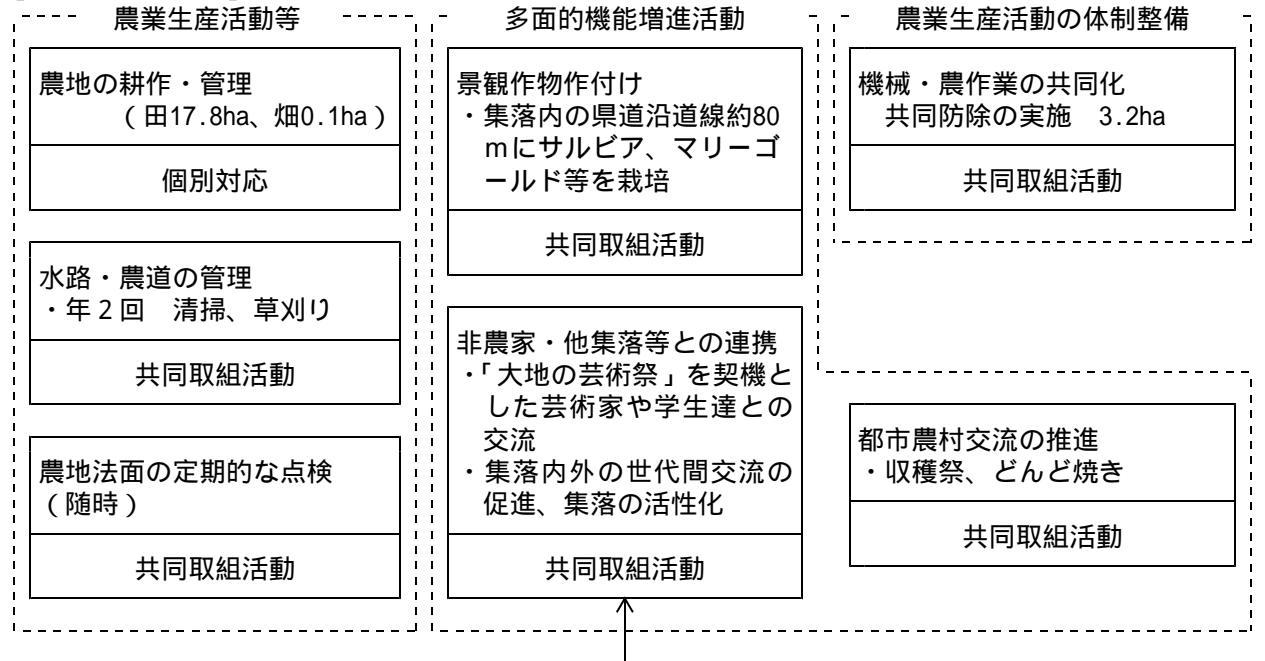
和牛飼養農家が2戸あることから、堆肥の集落内使用量を増やし、狭小圃場ならではの有機栽培・有利販売にも取り組みたい。



[将来像を実現するための活動目標]

「大地の芸術祭」を契機とした都市交流・地域内交流による集落の活性化
共同防除の実施

[活 動 内 容]



集落外との連携

- ・ 芸術家や学生との共同作業（あさがおプロジェクトなど）
- ・ 集落行事への参加

4 . 取組による変化と今後の課題等

「大地の芸術祭」を契機とした都市交流は、人づきあいが固定化しがちな当集落にとって大変刺激になっており、また色々な面で地域の素晴らしさを認めてもらっている証でもあるため、自信を持つことへも繋がっている。

営農について、当面は中核担い手農家を中心に維持していけるが、高齢化の進行を考慮し、集落営農の協業化に向けた検討が課題となっている。

[平成20年度までの主な成果]

「大地の芸術祭」を契機とした都市交流・地域内交流による集落の活性化

- ・ 非農家16名と連携した「あさがおプロジェクト」等により、県内外の訪問者が集落を訪れるようになっている。

機械・農作業の共同化による営農の効率化・低コスト化

- ・ 共同防除の実施（当初0ha、目標1.8ha、H20実績3.2ha）